

市長定例会見

2025年1月22日

今日お伝えしたいこと

自然回帰志向に対応した“樹林葬墓地”の整備

お墓に対するニーズの変化

ネットモニターアンケート（お墓の取得にあたり重視すること）

維持管理に係る費用 | 65.0%、子や孫に負担にならないこと | 52.1%

※「墓地について」のネットモニターアンケートより（2022年9月 調査実施）

市立墓園の状況

・一般墓地の墓じまいの増加

2015年度以降返還数が上回る

許可数
－ 返還数

(2014年度)

45 区画

…

(2015年度)

▲128 区画

…

(2023年度)

▲843 区画

子や孫への承継を前提としない墓地のニーズの高まり

ニーズに対応した取り組み

合葬墓の状況

鶴越合葬墓（2018年度整備）は高い需要が続く（毎年 1,300～2,000体の申込）

神戸市立墓園のあり方を検討する有識者会議（2022～2023年度）

○ 墓じまい・無縁化増加への対応

→ 期限付墓地の整備（2025年度供用予定）

○ 家族・承継者の有無や経済状況等に関わらず葬られる機会の提供

→ エンディングプラン・サポート事業の開始（2024年6月～）

○ 自分で生前に墓を考える時代の到来への対応

▶ 自然回帰志向に応える新たな「**樹林葬墓地**」の整備に着手

「樹林葬墓地」の整備

政令市初

BE KOBE

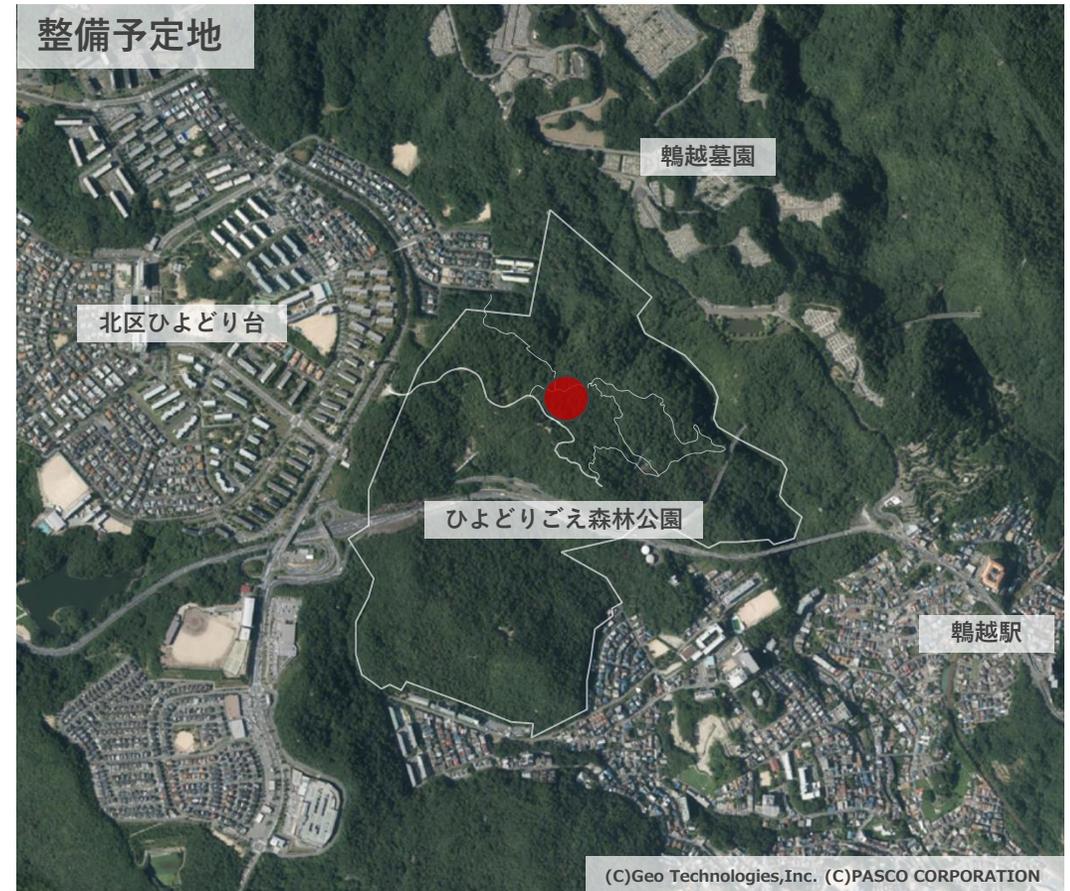
場所

ひよどりごえ森林公園内

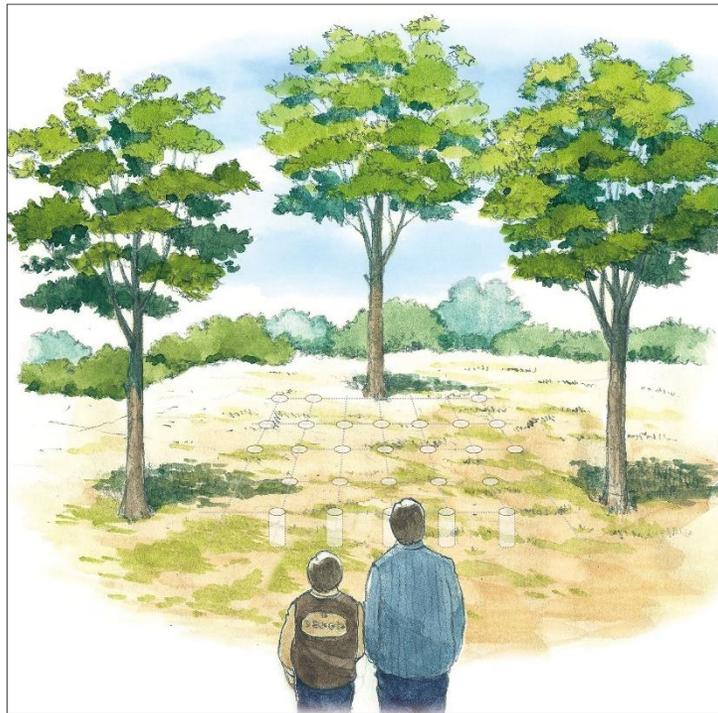
(北区ひよどり台4丁目)

概要

- ・ **墓域面積** | 約1,200 m²
→ 平坦かつ埋蔵深さを50cm以上確保できる範囲
- ・ **埋蔵予定数** | 約1,600体
→ 募集期間は20年(1年あたり80体)
- ・ **案内サインや散策路沿いの整備**
→ 墓所を示すサインや東屋、ベンチの整備



自然回帰に向けた埋蔵方法



○ 墓標

- ・ 個々の木ではなく、
植生の遷移による変化も含め、
樹林全体を墓標とする

○ 埋蔵の形態

- ・ 自然分解を促進させるため、
粉骨（パウダー状にした焼骨）を
直接土中に埋蔵する

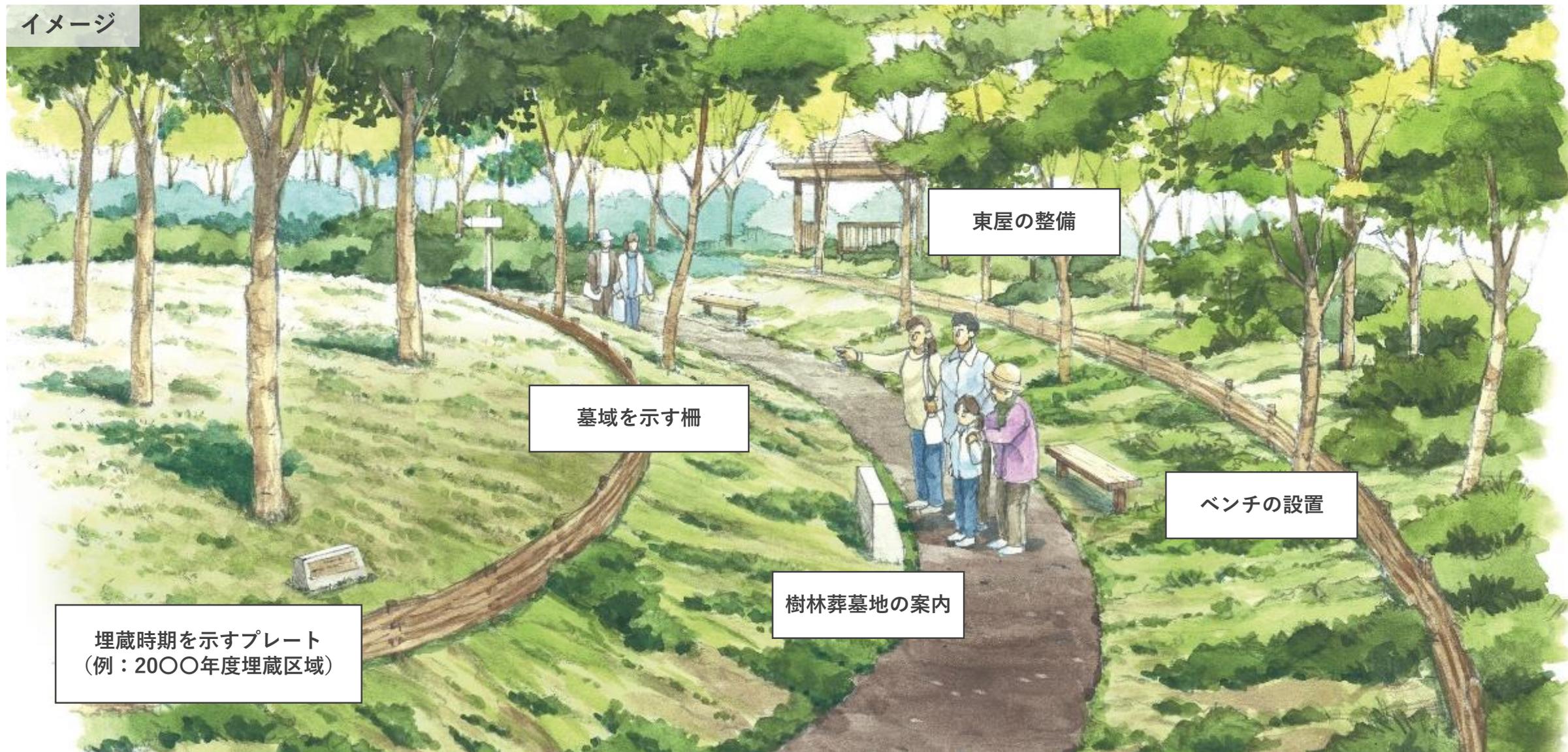
○ 管理期間

- ・ 埋蔵供用期間を20年、
粉骨が分解する期間の30年で
50年後には自然山林に還る

墓地・公園利用者のための空間整備

BE KOBE

イメージ



スケジュール

2025年3月まで

詳細設計

2025年夏頃～

整備工事に着手、使用料を設定

2026年3月頃

樹林葬墓地の募集開始

2026年夏頃

供用開始